

地域づくり実践塾 事業報告書

令和5年2月5日

ブロック名： 児湯 ブロック ブロック代表者名 川上喜義

事業目的：

名 称：ピースフレイムキャンドル

実 施 日：令和 4年 8月17日 水曜日 実施時間： 19時～21時（2時間）

実施場所：都農町（道の駅つの会議室）

対 象：対象問わず

参加人数： 17 人

実施内容：

（広島原爆の残り火を前に語り部の話を聞く会）

「みなさんは原爆の残り火が今も残っていることをご存じですか？」

この語り口から始まる広島原爆の話を、九州一円に伝えて回る語り部の方を招き、
今もなお残る原爆の残り火を目の前に、話をしてもらう。

写真資料：



広島原爆の話を真剣な眼差しで聞き入る参加者



語り部として九州一円をまわる新潟出身の佐藤春雄さん



参加社全員でそれぞれのろうそくに原爆の残り火を灯す



ピースフレイムキャンドルに参加した皆さん

所 感：

児湯郡内で毎年このイベントを行っているが、昨年はコロナの影響を受け、オンラインでの開催となった。

今年もコロナの影響が残る中ではあったが、感染対策を行い開催することができた。

ウクライナでの悲惨な戦争を映像で見ることでの原爆の残り火。

毎年同じ話ではあるが、その時の感情、環境などで毎年違った話として聞き入ってしまう。

毎年違う話と捉えても毎年共通して思うのは戦争はだめだ。ということ。

参加者の中には高齢な方もおられたが、実際に戦争を体験した話も聞くことができた。

子どもの素直な戦争に対する思いも聞くことができた。

ピースフレイムキャンドルは今後もずっと続けていかなければならないと改めて実感したイベントであった。

名 称：しんとみ駅前夜市

実 施 日：令和 4 年 9 月 1 0 日 土 曜 日 | 実施時間：16 時～20 時

実施場所：日向新富駅前

対 象：対象問わず | 参加人数： 300 人

実施内容：
（日向新富駅前で行われる夜市の企画運営）
新富町で三納代商工業振興会が主催する「しんとみ駅前夜市」の企画運営に、地域づくり団体「新町若者会」が携わり開催した。

写真資料：



午後 4 時から始まった夜市は終了までたくさんの人で賑わった



地域づくり団体の繋がりを生かし、県内のよさこい団体も演舞



航空自衛隊新田原基地ブース



なでしこリーグへの参入が決まったヴィアマテラス宮崎の選手達もブースを出した



夜市のフィナーレは駅前初となる花火を打ち上げた

所 感：

コロナの影響で3年ぶりとなった「しんとみ駅前夜市」。

県内、そして町内でもイベントが開催されなかったこともあってかたくさんの方が集まった。

地域づくり団体の繋がりを生かしステージを盛り上げたほか、航空自衛隊新田原基地にも協力をしてもらった。中でも、なでしこリーグへの参入が決まったヴィアマテラス宮崎の選手には、宣伝ブースのほか、ドリンクの販売も行ってもらいステージだけでなく会場全体を盛り上げた。

駅前夜市のフィナーレは駅前初となる花火を打ち上げた。

コロナの終息を願い、そしてこれからの町の盛り上げを願って打ち上げた花火は、会場にいる方達が涙を流すほどの感動があり大成功であった。

今回の駅前夜市の内容ほとんどが地域づくり団体関係のつながりで行ったものであり、地域づくりの必要性を痛感するものであった。

名 称： 地域づくり実践塾	
実 施 日：令和 5年 2月12日 日曜日	実施時間：
実施場所：都農町（都農神社）	
対 象： 対象問わず	参加人数： 人
実施内容： 書類提出時 実施前	
写真資料：	
所 感：	

次年度の計画：
